

## 北海道札幌平岸高等学校のESD活動の取り組みについて

北海道札幌平岸高等学校 校長 林 恵子  
担当者名 教諭 吉岡 隆

### 1. 本校のESD活動の特徴

2010年より、札幌ユネスコ協会の「私のまちのたからもの絵画展」に小樽祝津の茨木家中出張番屋などの写真作品を展示協力している。2012年に、日本ユネスコ協会連盟「私のまちのたからものスライドショーコンテスト」において旧青山別邸を取材して優秀賞、2013年には小樽祝津の週末食育番屋の食育教室を取材して、最優秀賞を受賞した。

2012年より札幌の姉妹都市ポートランドの幼稚園、小学校、中学校、高校の日本語学習教材として、iPadで利用できるデジタル絵本を制作、国際交流を行ってきた。

2013年からは日本ユネスコ協会連盟の世界寺子屋プロジェクトのリーフレットコンテストに参加して、教育新聞社賞を受賞。2014年にユネスコスクールへの加盟申請を行い、第6回ユネスコスクール全国大会・世界大会 ESD 優良実践事例となった。

活動分野としては、環境、食育、国際交流、地域との連携などで、総合学習の時間、美術、情報、課外活動の時間での取り組みを中心に、生徒会や放送局、美術部の生徒たちがユネスコスクールの活動に取り組んでいる。

### 2. ESD活動・全体計画

2014、15年度は、ユネスコ世界寺子屋プロジェクトに参加し、さっぽろ雪まつりにおいて、ユネスコ世界寺子屋プロジェクトの雪像を制作し、雪まつりの会期中に募金活動を行った。



さっぽろ雪まつりのユネスコ雪像



雪像前での募金活動

2015年度は、3年生の佐々木将人君が日本ユネスコ協会連盟の第2回高校生カンボジア・スタディツアーに選ばれ、帰国後、北海道高校ユネスコ研究会、札幌ユネスコ協会での講演、本校での報告会を行った。

この他に総合学習の時間に札幌ユネスコ協会の徳田実副会長、同じく中村康江理事による講演会を行った。

また、リニューアルオープンした北海道博物館を紹介するデジタル絵本を制作し、札幌市電子図書館よりリリースした。

2月には、北海道高校ユネスコ研究大会において、さっぽろ雪まつりでの世界寺子屋プロジェクトの取り組みと私のまちのたからもの活動について発表を行った。

2016年度は、札幌ユネスコ協会の私のまちのたからもの絵画展・パネル展に作品パネルを出品協力した。

また、今年度は円山動物園と連携し、円山動物園の動物をモチーフにした環境デジタル絵本を7冊制作し、札幌市電子図書館よりリリースして、西岡小学校で読み聞かせを行った。

12月には、日本アンチドーピング機構（JADA）からの依頼で、アジアオセアニア国際アンチドーピングセミナーにおいて、プレゼンテーションを行い、オリンピックアスリートたちとPLAY TRUE 宣言のイベントに参加した。

2月のさっぽろ雪まつりでは、冬季アジア大会のマスコットの雪像を制作し、雪まつりの会期中に雪像前で冬季アジア大会とユネスコ寺子屋プロジェクトの募金活動を行った。

### 3. ESD 活動事例

#### (1) 円山動物園のデジタル絵本の制作

5月に2、3年生の美術の授業で円山動物園取材し、円山動物園の動物をモチーフにした環境教育のための創作デジタル絵本を7冊制作し、札幌市電子図書館からリリースして、貸出ランキングでも上位となった。

#### (2) アジア・オセアニア国際アンチドーピングセミナーで発表

12月9日にアジア・オセアニア国際アンチドーピングセミナーで、翌日はオリンピックアスリート達とPLAY TRUE 宣言を時計台において行った。



円山動物園デジタル絵本



アンチドーピングセミナー

### 4. 成果と課題

ユネスコスクールとなって2年目のESD活動は、円山動物園との連携や日本アンチドーピング機構の国際セミナーに参加するなどの成果があった。

今年度の課題としては、国際セミナーでの発表は英語で行う必要があったが、英語でのプレゼンテーションの指導までは行えなかった。

また、校内で何教科が連携した取り組みとして、アンチドーピングの授業に取り組んできたが肝心の英語科の参加を得ることができなかったことが課題である。

英語以外の言語による国際交流もあるので、教科に限らず外国語の指導ができる教員も指導担当として確保する必要がある。